

346 GROOVE FRIDAY!

コンサート in 中野市市民会館

～故郷のふるさとより。～



「三四六」プロフィール

1970年7月9日東京都生まれ。小学校から柔道を始め、1985年第16回全国中学校柔道大会78kg以下級で優勝。決勝戦の相手は1993年世界選手権で優勝した中村佳央氏だった。1993年明治大学法学部を卒業。普通教員教職課程を修了し、教師の道を歩む寸前で吉本興業から芸人としてデビュー。2001年FM長野の「346 GROOVE FRIDAY!」がスタートし、以来活動の軸を長野県にも広げる。現在もテレビ・ラジオの出演のほか、コンサートや執筆など幅広い分野で活躍中。

「信州なかの」三四六コンサート実行委員会では、「346 GROOVE FRIDAY!」コンサートin中野市市民会館「故郷のふるさとより。」を開催します。

三四六さんは、ラジオのパーソナリティーのほかテレビ番組の司会者として活躍中であり、そのステージではヒット曲や軽快なトークをお楽しみいただけます。大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

○日時 11月15日(土)

(開演) 午後5時

(開演) 午後5時30分

○会場 市民会館ホール

○入場料 4500円(全席指定席)

※お子様を連れて来られる場合、保護者のひざの上など、席を必要としない幼児の際は、大人一人につき、一人の幼児が入場できます。なお、席を必要とする場合は、チケットが必要となります。

○チケット販売所 売れる農業推進室、FM長野本社・長野支社

※ローソンチケット(Lコード) 73331でも販売しています。

○主催 「信州なかの」三四六コンサート実行委員会

○共催 中野市、長野エフエム放送(株)

問い合わせ先

「信州なかの」三四六コンサート実行委員会事務局(売れる農業推進室内)
☎21111(内線406)

広報クイズ

■今月のプレゼント

「リンゴ狩り(ふじなど)ペアチケット」…2組

問題

本市で誕生した秋映は、何を交配して生まれたものでしょう。

「●●×○○」

クイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、世帯主名を記入の上、今月の広報で参考になった記事、今後知りたい情報などをはがきに書いて、次の宛先までご応募ください。

締め切り 10月24日(金)必着
※当選はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

先月号の答え 中野消防署および豊田消防署の平成25年火災発生件数は?
答え・・・「17件」

383-8614

(住所記載不要)

中野市庶務課

秘書広報係 行

住所・氏名・年齢・
電話番号・世帯主

市民リレー元気の輪

No.4

小林直美さん
からのご紹介



○自己紹介

もうじき後期高齢者になります
が、健康寿命を延ばすために頑張っ
ています。

8年前から、地域の方と月1回の
ペースで「お茶飲みサロン」を楽し
んでいます。お茶飲みやおしゃべり、
体操が基本ですが、時にはさまざま
な講師を招いて、講演会やコンサ
ーなども行っています。

昔は、隣近所のじいちゃんば
ちゃんがお互いの家を行き来して、
縁側でお茶を飲んで世間話をするの
が当たり前の光景でしたが、最近で
はあまり見られなくなってきたの
で、そういった場の一つになればと
思い、続けてきました。参加してく
ださる方はみんなお元気で、私の良

き先生のような
存在です。

また、定年退
職をきっかけに
通信制の放送大
学に入学し、テ
レビやラジオ、
インターネット
で授業を受けて
勉強しています。
これまでに福



▲吉池さんとお茶飲みサロンの皆さん

祉や心理学など4つの課程を修了し
ました。全ての課程を制覇するつも
りで、マイペースで学んでいます。

○元気の秘訣

笑顔が最良の薬と思って、よく笑
い、よくしゃべり、何でも楽しんで
ほほどにやることです。

また、年に2回届く放送大学の教
科書が、私を未知の世界へ誘ってく
れます。幾つになっても新しい扉を
開くのは、わくわくドキドキと楽し
いものです。

○おらほの自慢

地域の高齢者がいきいきと元気に
働いていることが自慢です。中野市
はキノコや果樹など農業がとても盛
んですが、たくさんの元気な高齢者
が支えているからだと思います。



吉池 照子 さん (新保)

池田市長の

わくわくレポート

vol. 15



豊かな自然と暮らしを
情報発信する

紅く色づくリンゴが抜けるような
秋の空に映え、頬をつたう涼風に、
ひと時ふるさとの風景に浸る。中野
市はリンゴやぶどうなど、今や、果
樹の一大生産地として、その種類の
豊富さ、その品質の良さで、広く知
られるようになった。それは農業に
携わる皆さんの弛まぬ努力があつて
のことである。

激動の世界経済の中で、わが国の
成長産業とするため、今、国を挙げ
ての農業改革が進められようとして
いる。ただ、土や自然を相手とする
農業は、他産業とは異なるというこ
とを知らない。中野市が果樹生産
が盛んな理由の一つに、まず、年
間降水量が全国平均より少ない約
1000ミリということや、昼夜の寒
暖差が大きく、また扇状地であるが



ゆえに水は
け等果樹栽
培に適した
土地である
ということ
などは、首都

圏等に出かけた際に、セールスト
ークでよく使わせていただいている。
穏やかな自然環境は、知恵の創出
と技術の研磨の風土を育み、生産技
術の改良や新しい品目へ挑戦する農
業を支えてきている。今、全国各地
で地域ブランドを目指し、地域づく
りや町おこしが盛んだが、中野市は
ブランドを極める際にまず、地域の
農業があげられる。天領文化など歴
史や風景、民俗などこの地のブラン
ド創出を図る上で、資源には事欠か
ないが、まずは、この地の「おおい
い」といった食文化の情報発信が必
要だ。
中野市では来る10月24日に横浜に
おいて中野市および周辺自治体の協
力を得て、信州中野フェアの開催を
予定している。また、11月6日には
長野県が銀座にオープンする「銀座
NAGANO」しあわせ信州シェアス
ペース」で中野市の食材とお酒を用
意し、東京・横浜の財界人にお集ま
りいただき、中野市の豊かな食文化
を知っていただく食事を開催す
る。首都圏等大都市圏とのより有機
的なつながりを強化し、まずは「知っ
ていただく」ことから着実にシテイ
セールスを展開していきたい。